

事業番号	1	事業名等	市民の健康と福祉のまちづくり推進事業
仕分け結果	市が実施（要改善）		担当課 健康増進課 高齢介護課 保険年金課

仕分けの論点	事業の把握（地域格差や重複の是正）、事業効果の測定と結果の反映
--------	---------------------------------

今後の方針	<p>【改善見直し】</p> <p>【事業の把握について】 地域格差が出ないように委託内容を見直し、平成 24 年度の仕様書に反映していく。今後も他事業と重複しないように留意する。</p> <p>【事業効果の測定と結果の反映】 平成 23 年度から事業の効果測定を検討し、次年度の予算や仕様書に反映していく。</p>
方針策定理由	<p>事業内容について、実施する支部の裁量によって地域間の健康と福祉に格差が生じることのないように、十分配慮した委託仕様書とする。また、事業の目的が実施者（支部推進会議）にもわかりやすい内容とし、取り組みやすくする。</p> <p>健康と福祉を目的とする事業において、他との重複はないことが確認できたが、重複していると思われる事業名称などには配慮しなくてはならない。今後とも他との重複がおこらないよう、十分に留意しながら事業をすすめていく。</p> <p>本事業の効果の可視化への努力が求められている。これについて、たとえば『高齢者あんしん活動』については、民間に委託した場合と費用を比較するなどの「経費面」や、全支部に共通した独居高齢者の訪問簿や緊急時連絡先名簿などの「成果品」の積み上げなどにより、効果の可視化を行う。 測定した効果を検証し、その結果は次年度の予算や委託仕様書に反映させる。</p>